

地域の皆さんの健康のために  
さまざまな活動をしている  
上田薬剤師会から、  
健やかな毎日をつくるために  
ちょっと役立つお話を  
お届けしていきます。  
毎月「第2土曜日」の  
週刊うえだを、どうぞお楽しみに!

薬剤師の

# ちょっと薬に立つお話

## 今月のTOPICS

上田薬剤師会のかかりつけ薬局を「組織で支える」しくみ

## 休日と夜間の当番薬局制度

寒さが厳しくなり、風邪をひいたり、体調を崩しやすくなる季節です。休日や夜間に、急に具合が悪くなったらどうしよう?… そんな不安に、上田薬剤師会は「組織で」おこたえします。年末年始も安心してお過ごしください。

まずは  
かかりつけ  
薬剤師・薬局を  
持ちましょう!

「かかりつけ薬剤師・薬局」であれば、かかりつけ患者さんからの問い合わせや薬の相談、処方せん調剤に、休日や夜間など薬局の開局時間外でも24時間対応します。「いつもの薬剤師」が、過去の服薬情報とあわせてアドバイスするので、いつでも安心です。

かかりつけ薬剤師の登録については、各薬局にお問い合わせください

### 休 「お休みの日」には… 休日当番薬局 があります!

日曜や祝日、かかりつけ薬局が休みの場合でも、急な病気やけがによる処方せんの調剤などで患者さんが困らないよう、上田薬剤師会では会員薬局が当番制で対応しています。

上田市・東御市・小県郡を4つのブロックに分け、各1ブロックにつき1薬局が、午前9:00から午後7:00まで開局しています。これは、平成5年度から始めた制度です。

### 夜 「夜中」には… 夜間当番薬局 があります!

夜間の急な対応も、上田薬剤師会の会員薬局が当番制で担当しています(午後7:00から翌朝7:00)。まずは自分のかかりつけ薬局に電話をして、連絡が取れない場合は ☎0268-21-0660へお電話ください。いつでも夜間当番薬局につながるようになっていきます。これは平成8年度から始めた制度です。

夜間当番薬局は処方せんの調剤をするだけでなく、患者さんの行きやすい調剤可能な薬局を探したり、薬に関する電話相談を受けたりしています。

年末年始、休日、夜間…

## お薬のことで困ったときは…

まずは「かかりつけ薬局」へ連絡しましょう!

休日に連絡がつかない場合は、お近くの「休日当番薬局」へ!

※「週刊うえだ」内に当番薬局一覧が掲載されています。※当番薬局は、ホームページでも確認できます。

<http://www.uedayaku.org/>



夜間に連絡がつかない場合は、★当番薬局へ転送されます★

夜間受付電話 ☎ 0268-21-0660 へ! (午後7時~翌朝7時)

## はい、お答えします!

Q. 清涼感のある目薬の「清涼感」を出す成分は、薬としての効果はありますか? (立科町桐原・16歳・女性)

A. 清涼感を感じさせる成分は、目薬の有効成分表示には含まれません。疲れ目の症状が出ているときにキューっとくると気持ちがいいと感じる方がいるので、清涼感のある目薬が市販されていますが、目薬の効能に差はありません。目の充血や原因のわからない症状の時にはおすすしめません。

このコーナーでは毎月、読者の方からの質問に薬剤師がお答えします。お薬に対する素朴な疑問、質問、なんでもお寄せください。

ハガキ 〒386-0012 上田市中央6-3-41  
週刊うえだ「はい、お答えします!」係  
メール weekly-ueda@po3.ueda.ne.jp  
FAX 0268-22-6201



## 特集 薬剤師になるには?

受験シーズン到来! 将来の夢に向かって頑張るお子様を全力で応援してあげたいですね。今回は、お子様の将来の選択のご参考になればと「職業としての薬剤師」を考えてみました。

### 薬剤師になるには

薬剤師として働くためには、**薬剤師国家試験に合格し、国の薬剤師名簿に登録しなければなりません。国家試験の受験資格を得るには、6年制薬学部の卒業が必須**です。

高校

6年制大学薬学部

薬剤師国家試験

薬局、病院、製薬会社などに就職

薬学系の学科がある大学は、国立、公立、私立とさまざまで、全国に80校近くあります。薬剤師をめざす人は、これら薬学系の大学に入学し、6年間必要な勉強をします。「有機化学」「生物化学」「薬理学」「疫病学」などの学問から現場実習まで、幅広い知識と技術を身につけます。

このカリキュラムを修了し、6年制の課程を卒業、または卒業見込みの人に、薬剤師国家試験の受験資格が与えられます。

### 薬剤師インタビュー

今年4月に薬科大学を卒業したばかり、  
新人薬剤師の横林秀明さんに話を聞いて  
みました。



#### 薬剤師になろうと思ったきっかけは?

小学生の時に叔母の死に直面し、医療にかかわる仕事がしたいと強く思いました。理数系が得意だったこともあり、医療系の道を志しました。

#### 得意だった科目は何ですか?

高校では物理が得意だったのですが、残念ながら薬科大学の受験科目にはありませんでした。でも入学してからは、けっこう物理の知識が必要だったので、得意科目が活かせて良かったです。

#### 「6年制」はどうでしたか?

10年ほど前に、4年制から6年制に変わりました。大きく違うのは「卒業してすぐ使える薬剤師」を目指して、実習カリキュラムが多く取り入れられたことでしょうか。5年生になると、実際の現場に長期間出ます。**病院で2カ月半、薬局で2カ月半、みっちり実習**です。現場では教科書のもっと先のことが日々起こり、大変でしたがとても勉強になりました。

#### どんな学生時代でしたか?

部活動が盛んな大学だったので、私は「空手部」に入りました(黒帯も取得しました)。部活とはいっても一般大学のサークルのような週2~3回の練習で、勉強に差し支えることはなかったです。



▲学校案内にも掲載されている勇姿

#### 薬局薬剤師という仕事はどうですか?

地域の医療に貢献する、とてもやりがいのある仕事だと思います。地域に根を張っているからこそ顔見知りの方が多く、そんな中で自分が頼りにされ、力になれるのは嬉しいですね。早く、もっとたくさんの人から頼られる存在になりたいです。



◀横林さんが使っていた国家試験向けの参考書(9教科分)。メモがたくさん書き込まれ、マーカーも随所に。